

平成二十四年六月一日（金曜日）

第四委員会室

午後二時十六分開議

出席委員 十三名

委員長 泉谷つよし君

副委員長 滝沢 景一君

副委員長 神林 茂君

理事 田中 健君

理事 橘 正剛君

理事 遠藤 衛君

関口 太一君

斉藤やすひろ君

小山くにひこ君

大島よしえ君

谷村 孝彦君

林田 武君

川井しげお君

欠席委員 なし

出席説明員

都市整備 局長技監兼務  
局

次長

技監

理事

飯尾 豊  
君

長谷川 明  
君

安井 順一  
君

松井多美雄  
君

理事	藤井 寛行 君
総務部長	田崎 輝夫 君
都市づくり政策部長	町田 修二 君
住宅政策推進部長	鈴木 尚志 君
都市基盤部長	石川 進 君
市街地整備部長	遠藤 正宏 君
市街地建築部長	砂川 俊雄 君
都営住宅経営部長	瀧本 裕之 君
企画担当部長	邊見 隆士 君
連絡調整担当部長	細瀧 順一 君
景観・プロジェクト担当部長	永島 恵子 君
住宅政策担当部長	香山 幹 君
民間住宅施策推進担当部長	高田 茂 君
航空政策担当部長外かく環状道路担当部長兼務	山下 幸俊 君

防災都市づくり担当部長	藤塚 仁 君
防災都市づくり調整担当部長	加藤 隆 君
多摩ニュータウン事業担当部長	栗岡 祥一 君
耐震化推進担当部長	小野 幹雄 君
経営改革担当部長	笹沼 正一 君
再編利活用推進担当部長	上野 雄一 君
建設推進担当部長	山田 雅史 君
営繕担当部長	妹尾 高行 君

本日の会議に付した事件

陳情の取り下げについて

都市整備局関係

陳情の審査

(1) 二四第三一号 「練馬区における外環の地上部街路に関する  
広く意見を聴く会」に関する陳情

(2) 二四第三八号 練馬区における外環地上部街路に関する資料  
及び住民説明会で話された内容に関する陳情

報告事項

・第百九十八回東京都都市計画審議会付議予定案件について（説明・  
質疑）

・平成二十三年度東京都一般会計予算の繰越しについて（説明・質  
疑）

・平成二十三年度東京都都営住宅等事業会計予算の繰越しについて

(説明・質疑)

- ・平成二十三年度東京都臨海都市基盤整備事業会計予算の繰越しについて(説明・質疑)
- ・平成二十三年度東京都都市再開発事業会計予算の繰越しについて(説明・質疑)
- ・東京都建築物液状化対策検討委員会検討報告「中間のまとめ」について(説明)

○田中委員 第三八号について質疑をさせていただきたいと思います。

今説明がありました、都は、練馬区の外環の地上部街路、外環ノ2であります。必要性やあり方などを検討するためのデータを提供し、説明してきたということですが、都が提出した資料について、建設ありきの偏ったデータではないかなどとの疑問を持っている方もいるということを聞いていますし、陳情者もそのような趣旨を今回述べております。

この検討に当たり使用しているデータというのは、住民が公平に判断できるデータとなっているのか、まずそれについて伺いたいと思います。

○山下航空政策担当部長外かく環状道路担当部長兼務 都が提供いたしました資料につきましては、道路交通センサスなど、国や都などの公共機関が公表しているデータをもとに作成してございます。

また、先ほどもご説明いたしましたように、窒素酸化物や二酸化炭素などの削減量につきましては、環境影響評価などで使用している国土交通省の資料を利用して算出しており、いずれも公平な判断ができるデータであると考えております。

○田中委員 出典は国や都のデータということでお話を伺ったんですけれども、私もこの説明資料を見ますと、二酸化炭素の削減量なども、これも国のデータをもとにとはいっておるんですが、あのデータだけ見ると出典も書いておらず、やはりちょっとデータとしては見ただけではすぐに信用できるデータなのか、また何をもとにこれがつくられているのかというのがわかりづらいというのものもあるか

とは思いますので、ぜひそこは丁寧に、一個一個説明を全部するのは難しいかと思うんですけれども、私たちのデータ、一般の人たちはパンフレットや説明資料しか手元に判断できる資料がないので、ぜひそこは丁寧にこれからの資料のつくり込みをしていただきたいと思います。

これまで出していただいたデータに基づいて、地域の住民に対してこれまでどのような形で説明会を行い、話し合いを進めてきたのか、今回、練馬区ということですが、練馬区における取り組みを伺いたいと思います。

○山下航空政策担当部長外かく環状道路担当部長兼務 練馬区におきましては、沿線の町会や商店会の代表者とともに、公募による地域住民などで構成する話し合いの会を平成二十二年六月から平成二十三年八月まで計六回開催しております。

この話し合いの会で都が示しましたデータにつきましては、配布した資料や会場内に設置したスクリーンを利用しまして、わかりやすい説明に努めました。

また、住民からいただいた質問につきましても、改めて資料を提供するなど、きめ細かな説明を行っております。

さらに、話し合いの会の構成員以外の地域住民からも意見を聞くため、平成二十三年十一月には、三日間にわたり広く意見を聴く会を開催しております。

○田中委員 今、答弁の中でもきめ細やかなという説明があったんですが、やはりそれでもなお一部には文書で説明を求めたり、追加の資料もぜひ出していただきたいという住民もいたり、声も上がっているのは確かであります。こういうような声に対して、都としては、今後さらにどういう対応ができるのか、していただけるのか、伺いたいと思います。

○山下航空政策担当部長外かく環状道路担当部長兼務 都といたしましても、地元の方々のご理解をいただくことは非常に重要なことと考えており、都はこれまでも、話し合いの会や広く意見を聴く会を通じまして、必要な説明を行ってきたところと考えておりますが、

引き続きさまざまな機会を通じて、住民の方々の疑問や不安を払拭するよう努めてまいります。

○田中委員 外環のこの地上部街路、外環ノ2ではありますが、これはこれからの事業であります。先ほどの話であります、たとえ公平で正確な資料を作成したとしても、住民の目線できめ細やかな説明がなければ地域住民の理解というのはなかなか得られないし、得られるはずがないとも思っております。

ぜひ、これからも私たちはこの推移を見守っていくとともに、まだこれから進んでいく事業でありますので、変更等があれば、常にこの委員会でもその取り組みについて不明な点は明らかにしていき、やはり一番は不信感というのが払拭できないと一緒の事業は進められないので、この不信感を払拭していくために委員会としても取り組んでいきたいと思っております。

都は、このことをしっかりと受けとめて、住民との話し合い、しているというのは確かにわかるんですが、払拭、一番の目的、先ほどいただきました地元の方々のご理解をいただくということを念頭に置いて事業を進めていっていただきたいということを最後に要望して、質疑を終わります。